平成29年度から令和4年度までの6年間を計画期間とする第三期中期計画を達成するため、令和3年度において取り組むべき事項を年度計画として定め、着実な事業展開を図る。 平成17年4月 公立大学法人首都大学東京設立、首都大学東京開学平成18年4月 産業技術大学院大学同学平成18年4月 東京都立産業技術高等専門学校が東京都から移管平成29年3月 第三期中期計画の変更について、東京都知事から認可令和元年8月 第三期中期計画の変更について、東京都知事から認可令和2年4月 直都大学東京の名称を東京都公立大学法人に変更令和3年3月 令和3年度年度計画を策定し、東京都知事へ局出※上記の中期計画、年度計画と、全て公式ホームページで公表している。(https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/guideline/) 令和3年3月 令和3年度年度計画を策定し、東京都知事へ局出※上記の中期計画、年度計画は、全て公式ホームページで公表している。(https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/guideline/) 令和3年度は、第三期中期計画の変度に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響等により加速する社会変革の動きを機験に提え、取組の更なる充実を推進することとし、年度計画に掲げた次の事項に取り組んでいる。 なお、各大学・高専では、感染防止対策を徹底した上で、感染状況や各校の特性に応じ、対面授業とオンライン授業を効果的に組み合わせるなどの方法により、学生の学修機会を確保するとともに、法人全体としても必要な教育研究環境の整備に努めてきた。○教育・研究の充実豊かな人間性と創造性を兼ね備え世界で活躍できる人材を育成するため、オンライン教育の活用も含め、教育研究内容の充実や環境整備を推進生進現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進 ○ 社会資協の推進生建現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進 ○ グローバル化への対応の加速学生受入れの更なる拡充を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速 ○ 組織運営基盤の強化 ・ プレゼンス・認知度の更なる向上に向けたブランディング戦略の推進や特報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・パランスの推進、「ポスト・コロナ」の新しい働き方を見速でよりま続き推進していての、ま程を実施を表面で表現といまの事に対しまままを検討を加速を発生した。 東京都公立大学は人総務部総務部の実務安全管理係 電話 042-677-1178 東京都公立大学・東京都公立大学は人総務部総務部の発生を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。 □ 同い合わせ先 東京都公立大学法人総務部総務部の実務安全管理係 電話 042-677-1178	6	東京都公立大学沿	去人 事業名	東京都公立大学法人	年度計	画の実	施
平成17年4月 公立大学法人首都大学東京設立、首都大学東京開学 平成18年4月 産業技術大学院大学開学 平成29年3月 東京都立産業技術高等専門学校が東京都から移管 平成29年3月 第三期中期計画について、東京都知事から認可 令和元年8月 第三期中期計画の変更について、東京都知事から認可 令和元年8月 第三期中期計画の変更について、東京都知事から認可 令和2年4月 首都大学東京の名称を東京都立大学に、産業技術大学院大学の名称を東京都立立業技術大学院大学に、法人の名称を東京都公立大学法人に変更 令和3年3月 今和3年度年度計画を策定し、東京都知事へ届出 ※上記の中期計画、年度計画は、全て公式ホームページで公表している。 (https://www.houjin-tmu.ac.ip/about/guideline/) 令和3年度は、第三期中期計画の達成に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響等により加速する社会変革の動きを機敏に捉え、取組の更なる充実を推進することとし、年度計画に掲げた次の事項に取り組んでいる。 なお、各大学・高専では、感染防止対策を徹底した上で、感染状況や各校の特性に応じ、対面授業とオンライン授業を効果的に組み合わせるなどの方法により、学生の学修機会を確保するとともに、法人全体としても必要な教育研究環境の整備に努めてきた。 ②教育・研究の充実 豊かな人間性と創造性を兼ね備え世界で活躍できる人材を育成するため、オンライン教育の活用も含め、教育研究内容の充実や環境整備を推進 「社会貢献の推進 生涯現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進 ②グローバル化への対応の加速 学生の留学支援や留学生受入礼の更なる拡充を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速 「組織運営基盤の強化 プレゼンス・認知度の更なる向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、「ポスト・コロナ」の新しい働き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施 令和3年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。	事	平成29年度から令和4年度までの6年間を計画期間とする第三期中期計画を達成す					
平成17年4月 公立大学法人首都大学東京設立、首都大学東京開学 平成18年4月 産業技術大学院大学開学 平成29年3月 東京都立産業技術高等専門学校が東京都から移管 平成29年3月 第三期中期計画について、東京都知事から認可 令和元年8月 第三期中期計画の変更について、東京都知事から認可 令和元年8月 第三期中期計画の変更について、東京都知事から認可 令和2年4月 首都大学東京の名称を東京都立大学に、産業技術大学院大学の名称を東京都立立業技術大学院大学に、法人の名称を東京都公立大学法人に変更 令和3年3月 今和3年度年度計画を策定し、東京都知事へ届出 ※上記の中期計画、年度計画は、全て公式ホームページで公表している。 (https://www.houjin-tmu.ac.ip/about/guideline/) 令和3年度は、第三期中期計画の達成に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響等により加速する社会変革の動きを機敏に捉え、取組の更なる充実を推進することとし、年度計画に掲げた次の事項に取り組んでいる。 なお、各大学・高専では、感染防止対策を徹底した上で、感染状況や各校の特性に応じ、対面授業とオンライン授業を効果的に組み合わせるなどの方法により、学生の学修機会を確保するとともに、法人全体としても必要な教育研究環境の整備に努めてきた。 ②教育・研究の充実 豊かな人間性と創造性を兼ね備え世界で活躍できる人材を育成するため、オンライン教育の活用も含め、教育研究内容の充実や環境整備を推進 「社会貢献の推進 生涯現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進 ②グローバル化への対応の加速 学生の留学支援や留学生受入礼の更なる拡充を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速 「組織運営基盤の強化 プレゼンス・認知度の更なる向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、「ポスト・コロナ」の新しい働き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施 令和3年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。	概	るため、令和3年度において取り組むべき事項を年度計画として定め、着実な事業展開					
平成18年4月 産業技術大学院大学開学 平成20年4月 東京都立産業技術高等専門学校が東京都から移管 平成29年3月 第三期中期計画について、東京都知事から認可 令和元年8月 第三期中期計画の変更について、東京都知事から認可 令和2年4月 首都大学東京の名称を東京都立大学に、産業技術大学院大学の名称を東京都立産業技術大学院大学に、法人の名称を東京都公立大学法人に変更 令和3年9月 令和3年度年齢画を策定し、東京都知事へ届出 ※上記の中期計画、年度計画は、全で公式ホームページで公表している。 (https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/guideline/) 令和3年度は、第三期中期計画の達成に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響等により加速する社会変革の動きを機敏に捉え、取組の更なる充実を推進することとし、年度計画に掲げた次の事項に取り組んでいる。 なお、各大学・高専では、感染助止対策を徹底した上で、感染状況や各校の特性に応じ、対面授業とオンライン授業を効果的に組み合わせるなどの方法により、学生の学修機会を確保するとともに、法人全体としても必要な教育研究環境の整備に努めてきた。 教育・研究の充実 豊かな人間性と創造性を兼ね備え世界で活躍できる人材を育成するため、オンライン教育の活用も含め、教育研究内容の充実や環境整備を推進 () 社会貢献の推進 生涯現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進 () グローバル化への対応の加速 学生の留学支援や留学生受入れの更なる拡充を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速 () 組織運営基盤の強化 プレゼンス・認知度の更なる向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、「ポスト・コロナ」の新しい働き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施 令和3年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。	要	を図る。					
平成20年4月 東京都立産業技術高等専門学校が東京都から移管 平成29年3月 第三期中期計画について、東京都知事から認可 令和元年8月 第三期中期計画の変更について、東京都知事から認可 令和2年4月 首都大学東京の名称を東京都立大学に、産業技術大学院大学の名称を 東京都立産業技術大学院大学に、法人の名称を東京都立大学法人に変更 令和3年3月 令和3年度年画しを策定し、東京都知事へ届出 ※上記の中期計画、年度計画は、全て公式ホームページで公表している。 (https://www.houiin-tmu.ac.in/about/guideline/) 令和3年度は、第三期中期計画の達成に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響等により加速する社会変革の動きを機敏に捉え、取組の更なる充実を推進することとし、年度計画に掲げた次の事項に取り組んでいる。 なお、各大学・高専では、感染防止対策を徹底した上で、感染状況や各校の特性に応じ、対面授業とオンライン授業を効果的に組み合わせるなどの方法により、学生の学修機会を確保するとともに、法人全体としても必要な教育研究環境の整備に努めてきた。 ②教育・研究の充実 豊かな人間性と創造性を兼ね備え世界で活躍できる人材を育成するため、オンライン教育の活用も含め、教育研究内容の充実や環境整備を推進 ②社会貢献の推進 生涯現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進 ②グローバル化への対応の加速 学生の留学支援や留学生受入れの更なる拡充を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速 ③組織運営基盤の強化 プレゼンス・認知度の更なる向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、「ボスト・コロナ」の新しい働き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施 令和3年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。					学東京開	学	
平成29年3月 第三期中期計画について、東京都知事から認可令和元年8月 第三期中期計画の変更について、東京都知事から認可令和元年8月 第三期中期計画の変更について、東京都知事から認可令和2年4月 首都大学東京の名称を東京都立大学に、産業技術大学院大学の名称を東京都立産業技術大学院大学に、法人の名称を東京都立大学法人に変更令和3年3月 合和3年度年度計画を策定し、東京都知事へ届出※上記の中期計画、年度計画と、全て公式ホームページで公表している。(https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/guideline/) 令和3年度は、第三期中期計画の達成に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響等により加速する社会変革の動きを機敏に捉え、取組の更なる充実を推進することとし、年度計画に掲げた次の事項に取り組んでいる。なお、各大学・高専では、感染防止対策を徹底した上で、感染状況や各校の特性に応じ、対面授業とオンライン授業を効果的に組み合わせるなどの方法により、学生の学修機会を確保するとともに、法人全体としても必要な教育研究環境の整備に努めてきた。 教育・研究の充実 豊かな人間性と創造性を兼ね備え世界で活躍できる人材を育成するため、オンライン教育の活用も含め、教育研究内容の充実や環境整備を推進 (社会貢献の推進 生涯現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進 グローバル化への対応の加速 学生の留学支援や留学生受入れの更なる拡充を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速 (組織運営基盤の強化 ブレゼンス・認知度の更なる向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、「ボスト・コロナ」の新しい働き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施 令和3年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。	までの						
会和元年8月 第三期中期計画の変更について、東京都知事から認可令和2年4月 首都大学東京の名称を東京都立大学に、産業技術大学院大学の名称を東京都立産業技術大学院大学に、法人の名称を東京都公立大学法人に変更令和3年3月 令和3年度年度計画を策定し、東京都知事へ届出※上記の中期計画、年度計画は、全て公式ホームページで公表している。(https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/guideline/) 令和3年度は、第三期中期計画の達成に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響等により加速する社会変革の動きを機敏に捉え、取組の更なる充実を推進することとし、年度計画に掲げた次の事項に取り組んでいる。なお、各大学・高専では、感染防止対策を徹底した上で、感染状況や各校の特性に応じ、対面授業とオンライン授業を効果的に組み合わせるなどの方法により、学生の学修機会を確保するとともに、法人全体としても必要な教育研究環境の整備に努めてきた。○教育・研究の充実豊かな人間性と創造性を兼ね備え世界で活躍できる人材を育成するため、オンライン教育の活用も含め、教育研究内容の充実や環境整備を推進生活現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進 グローバル化への対応の加速学生の留学支援や留学生受入れの更なる拡充を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速 が出る変染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速 かガールス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、第一型の新した側き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施中期計画の常定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。							
令和2年4月 首都大学東京の名称を東京都立大学に、産業技術大学院大学の名称を東京都立産業技術大学院大学に、法人の名称を東京都立立大学法人に変更令和3年3月 令和3年度年度計画を策定し、東京都知事へ届出※上記の中期計画、年度計画は、全て公式ホームページで公表している。(https://www.houjin*tmu.ac.jp/about/guideline/)							
展過 東京都立産業技術大学院大学に、法人の名称を東京都公立大学法人に変更令和3年3月 令和3年度年度計画を策定し、東京都知事へ届出※上記の中期計画、年度計画は、全て公式ホームページで公表している。(https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/guideline/) 令和3年度は、第三期中期計画の達成に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響等により加速する社会変革の動きを機敏に捉え、取組の更なる充実を推進することとし、年度計画に掲げた次の事項に取り組んでいる。なお、各大学・高専では、感染防止対策を徹底した上で、感染状況や各校の特性に応じ、対面授業とオンライン授業を効果的に組み合わせるなどの方法により、学生の学修機会を確保するとともに、法人全体としても必要な教育研究環境の整備に努めてきた。 教育・研究の充実豊かな人間性と創造性を兼ね備え世界で活躍できる人材を育成するため、オンライン教育の活用も含め、教育研究内容の充実や環境整備を推進 生涯現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進 生涯現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進 クローバル化への対応の加速学生の留学支援や留学生受入れの更なる拡充を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速 ・ 知識運営基盤の強化 プレゼンス・認知度の更なる向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、「ポスト・コロナ」の新しい働き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施 令和3年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。							
令和3年3月 令和3年度年度計画を策定し、東京都知事へ届出 ※上記の中期計画、年度計画は、全て公式ホームページで公表している。 (https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/guideline/)							
※上記の中期計画、年度計画は、全て公式ホームページで公表している。 (https://www.houjin tmu.ac.jp/about/guideline/) 令和3年度は、第三期中期計画の達成に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響等により加速する社会変革の動きを機敏に捉え、取組の更なる充実を推進することとし、年度計画に掲げた次の事項に取り組んでいる。 なお、各大学・高専では、感染防止対策を徹底した上で、感染状况や各校の特性に応じ、対面授業とオンライン授業を効果的に組み合わせるなどの方法により、学生の学修機会を確保するとともに、法人全体としても必要な教育研究環境の整備に努めてきた。 教育・研究の充実 豊かな人間性と創造性を兼ね備え世界で活躍できる人材を育成するため、オンライン教育の活用も含め、教育研究内容の充実や環境整備を推進生涯現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進 生涯現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進							
(https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/guideline/)							
令和3年度は、第三期中期計画の達成に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響等により加速する社会変革の動きを機敏に捉え、取組の更なる充実を推進することとし、年度計画に掲げた次の事項に取り組んでいる。 なお、各大学・高専では、感染防止対策を徹底した上で、感染状況や各校の特性に応じ、対面授業とオンライン授業を効果的に組み合わせるなどの方法により、学生の学修機会を確保するとともに、法人全体としても必要な教育研究環境の整備に努めてきた。 ○ 教育・研究の充実豊かな人間性と創造性を兼ね備え世界で活躍できる人材を育成するため、オンライン教育の活用も含め、教育研究内容の充実や環境整備を推進生涯現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進「グローバル化への対応の加速学生の科学支援や留学生受入れの更なる拡充を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速 ○ 組織運営基盤の強化 プレゼンス・認知度の更なる向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、「ポスト・コロナ」の新しい働き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施命和3年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。							
より加速する社会変革の動きを機敏に捉え、取組の更なる充実を推進することとし、年度計画に掲げた次の事項に取り組んでいる。 なお、各大学・高専では、感染防止対策を徹底した上で、感染状況や各校の特性に応じ、対面授業とオンライン授業を効果的に組み合わせるなどの方法により、学生の学修機会を確保するとともに、法人全体としても必要な教育研究環境の整備に努めてきた。 教育・研究の充実 豊かな人間性と創造性を兼ね備え世界で活躍できる人材を育成するため、オンライン教育の活用も含め、教育研究内容の充実や環境整備を推進 生涯現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進 生理現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進							
計画に掲げた次の事項に取り組んでいる。 なお、各大学・高専では、感染防止対策を徹底した上で、感染状況や各校の特性に応じ、対面授業とオンライン授業を効果的に組み合わせるなどの方法により、学生の学修機会を確保するとともに、法人全体としても必要な教育研究環境の整備に努めてきた。 数育・研究の充実 豊かな人間性と創造性を兼ね備え世界で活躍できる人材を育成するため、オンライン教育の活用も含め、教育研究内容の充実や環境整備を推進 生涯現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進 グローバル化への対応の加速 学生の留学支援や留学生受入れの更なる拡充を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速 組織運営基盤の強化 プレゼンス・認知度の更なる向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、「ポスト・コロナ」の新しい働き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施 令の 令和3年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。	の進行状						
なお、各大学・高専では、感染防止対策を徹底した上で、感染状況や各校の特性に応じ、対面授業とオンライン授業を効果的に組み合わせるなどの方法により、学生の学修機会を確保するとともに、法人全体としても必要な教育研究環境の整備に努めてきた。 ②教育・研究の充実 豊かな人間性と創造性を兼ね備え世界で活躍できる人材を育成するため、オンライン教育の活用も含め、教育研究内容の充実や環境整備を推進 ②社会貢献の推進 生涯現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進 ③グローバル化への対応の加速 学生の留学支援や留学生受入れの更なる拡充を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速 ③組織運営基盤の強化 プレゼンス・認知度の更なる向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、「ポスト・コロナ」の新しい働き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施 令和3年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。							
対面授業とオンライン授業を効果的に組み合わせるなどの方法により、学生の学修機会を確保するとともに、法人全体としても必要な教育研究環境の整備に努めてきた。 ②教育・研究の充実 豊かな人間性と創造性を兼ね備え世界で活躍できる人材を育成するため、オンライン教育の活用も含め、教育研究内容の充実や環境整備を推進 ②社会貢献の推進 生涯現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進 ③グローバル化への対応の加速 学生の留学支援や留学生受入れの更なる拡充を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速 ③組織運営基盤の強化 プレゼンス・認知度の更なる向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、「ポスト・コロナ」の新しい働き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施 令和3年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。							
を確保するとともに、法人全体としても必要な教育研究環境の整備に努めてきた。 ○ 教育・研究の充実 豊かな人間性と創造性を兼ね備え世界で活躍できる人材を育成するため、オンライン教育の活用も含め、教育研究内容の充実や環境整備を推進 ○ 社会貢献の推進 生涯現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進 ○ グローバル化への対応の加速 学生の留学支援や留学生受入れの更なる拡充を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速 ○ 組織運営基盤の強化 プレゼンス・認知度の更なる向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、「ポスト・コロナ」の新しい働き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施 今の 令 令 令 令 令 令 令 令 3 年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。							
□ 教育・研究の充実 豊かな人間性と創造性を兼ね備え世界で活躍できる人材を育成するため、オンライン教育の活用も含め、教育研究内容の充実や環境整備を推進 □ 社会貢献の推進 生涯現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進 □ グローバル化への対応の加速 学生の留学支援や留学生受入れの更なる拡充を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速 □ 組織運営基盤の強化 プレゼンス・認知度の更なる向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、「ポスト・コロナ」の新しい働き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施 □ 令和3年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。							
思れている。 豊かな人間性と創造性を兼ね備え世界で活躍できる人材を育成するため、オンライン教育の活用も含め、教育研究内容の充実や環境整備を推進							
現在の進行の進行のでは、教育研究内容の充実や環境整備を推進を推進を推進を推進の対象での大変を関係を推進を推進を推進を推進を推進を推進を推進を推進を推進を推進を推進を推進を推進を							
の進行では、							
進行状況 ・ 住民資献の保証 ・ 生涯現役都市の実現に向けた取組など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的還元を推進 ・ グローバル化への対応の加速 ・ 学生の留学支援や留学生受入れの更なる拡充を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速 ・ 組織運営基盤の強化 ・ プレゼンス・認知度の更なる向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、「ポスト・コロナ」の新しい働き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施 ・ 令 令 令 令 つ 3年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。							
状況							
○ グローバル化への対応の加速 学生の留学支援や留学生受入れの更なる拡充を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速 ○ 組織運営基盤の強化 プレゼンス・認知度の更なる向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、「ポスト・コロナ」の新しい働き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施 令 令 令 令 の 中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。							
学生の留学支援や留学生受入れの更なる拡充を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速							
ルス感染症の影響による社会変革を踏まえ、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速							
る充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速 ○ 組織運営基盤の強化 プレゼンス・認知度の更なる向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、「ポスト・コロナ」の新しい働き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施 今 令 令 令和3年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウスが、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では							
○ 組織運営基盤の強化 プレゼンス・認知度の更なる向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、「ポスト・コロナ」の新しい働き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施 令和3年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。		る充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速					
リティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、「ポスト・コロナ」の新しい働き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施令和3年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウスの表達の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。							
リティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、「ポスト・コロナ」の新しい働き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施令和3年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウスの表達の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。							
今 令和3年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウ見 イルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度計画に掲げた事業を引き続き推進していく。							
の 中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウ 見 イルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度 し 計画に掲げた事業を引き続き推進していく。		き方を見据えた業務の効率化、施設設備の計画的な更新・整備を実施					
の 中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウ 見 イルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度 し 計画に掲げた事業を引き続き推進していく。	今	令和3年度後半は、令和4年度が第三期中期計画期間の最終年度となることや、次期					
通しま画に掲げた事業を引き続き推進していく。	の 見	中期計画の策定も見通しながら、中期計画の達成に向けた課題を整理し、新型コロナウ					
□ □ 計画に掲げた事業を引き続き推進していく。		イルス感染症の影響等により実施が困難な事項については代替策を検討するなど、年度					
問い合わせ先 東京都公立大学法人総務部総務課労務安全管理係 電話 042-677-1178	l	計画に掲げた事業を引き続き推進していく。					
	F	問い合わせ先	東京都公立大学法	人総務部総務課労務安	全管理係	電話	042-677-1178